



## 琉球石灰岩を最大限活用するための設備導入に伴う 全国展開を見据えた生産体制の構築

### 有限会社珊瑚建材

建装・景観用石材として琉球石灰岩の価値・需要は共に高い。設備を導入し石材の生産性向上、全国展開できる生産体制の構築を目的とし、チェーンソー・ワイヤーソーの導入により、「お客様の要望にそった石材の提供」「成形時のロス軽減」の達成を目指した。

#### 導入前の課題

課題

当社は、沖縄県にある大度鉱山で琉球石灰岩の採石業を営んでいる。当鉱山で採石された石は、県立博物館・美術館、沖縄美ら海水族館等に使用されている。沖縄県で取れる石の主な用途が、土木建設などに使われるため大きな石である必要がないので砕いて採取される。当社では、限りある良質な資源である琉球石灰岩を石材として活用したいが、現状では、砕いて採石するしか方法はなく、狙って石材として使用できる 2t 以上の大きな石をとることができない。そのため、県内外から要望はあるものの、供給が間に合っていない状況である。

#### 補助事業での取り組みと成果

取組と  
成果

現在の採掘方法では、顧客の要望に応じた石を切り出せないこと、石材屋でカットしてもらうと加工ロスが多く出る課題がある。その課題を解決する為、チェーンソーとワイヤーソーの機械設備を導入し、検証を行った。技術指導に当たって、切断スピードや回転速度の調整、操作方法について確認。採掘にあたっては、5 回の効果測定および品質確認を行った。一辺を 5 回連続切断した際の誤差を 5 cm 以内にするという目標は達成したが、事業実施中に発生した切断面に対する新たな課題の解決策も検討できた。



導入したワイヤーソー



チェーンソーで切断している様子



琉球石灰岩の石材サンプル



上空から撮影した大度鉾山

## 補助事業後の展開

沖縄県は、民間・公共工事問わず、建設工事が盛んである。土木や建築会社等、今まで取引がない沖縄県内外の石工製造業者・石材商社もユーザーとして見込める。形が均一でサイズも自由に決められるため、運搬しやすくなるため石材商社を通じて、全国の建設会社・石工製造業者に琉球石灰岩を広めることができる。将来的には、石材商社を通じて中国やアジア圏などの海外へも展開していきたい。

## With コロナ、After コロナにおける取組

主力である建築関連事業について、ホテル建設計画の見送りから事業が一部停止していた。当社は作業現場に高齢者も多いため、マスクを大量に発注し、従業員に配布したり、事務所内での人との接触機会を減らすなど、コロナ対策を行っていた。対面での営業が難しい中、サンプルの提供による営業活動を石材商社と行っている。今後、海外からの引き合いも予想されることから、目利きを高め、付加価値をつけていきたい。



代表取締役 金城 日出児

### 会社概要

事業者名：有限会社珊瑚建材

代表者：代表取締役 金城 日出児

住所：沖縄県糸満市字糸満 1961-19 (301 号室)

資本金：800 万円

従業員数：19 人

電話：098-994-2183

FAX：098-852-4422

設立年月日：平成元年 4 月 10 日

業種：鉾業、採石業、砂利採取業

URL：<http://sango.nanbu-kogyo.okinawa/>